

金融市場NOW

家計の金融資産が過去最高を更新

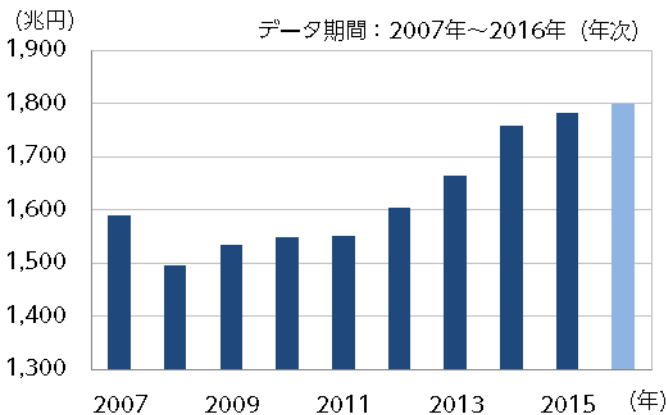
家計金融資産残高が1,800兆円に到達

日本銀行が3月17日に発表した2016年末の資金循環統計によれば、家計の金融資産残高は1,800兆円となり、4四半期ぶりに過去最高を更新しました（図表1）。前年末と比較し0.9%の増加となりました。

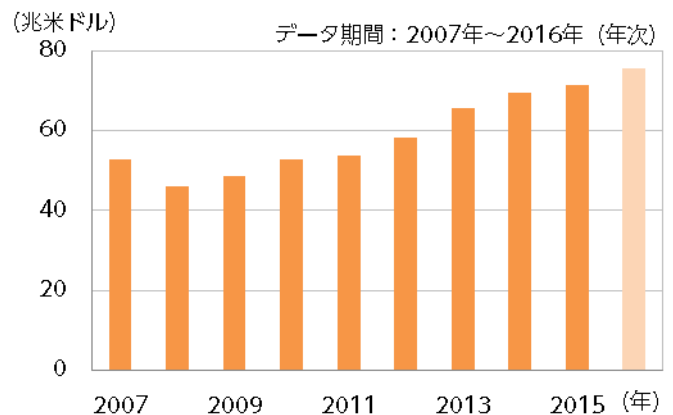
2016年11月の米国大統領選挙後のいわゆる“トランプラリー”で円安・株高が進行し、株式や外貨建て資産の評価額が増加したことが資産残高を押し上げました。資産別の内訳を見ると前年末比で、投資信託は0.2%の増加、株式等は0.3%の減少、保険・年金は0.5%の増加となりました。なお、米国の家計金融資産も前年末比5.6%増加の75兆米ドルとなっており増加基調を続けています（図表2）。

日本の家計金融資産の大半を占める現金・預金は前年比1.8%増の937兆円（図表3）となり、株式等や投資信託などリスク性資産と比較しても増加幅が大きくなりました。株価上昇の中でも現金・預金など安定資産の残高が増加しています。一方、米国では株式・出資金の残高は前年末比8.4%増加の27兆米ドルとなっており、日米の家計保有金融資産の特徴を表す象徴的な結果となりました（図表4）。

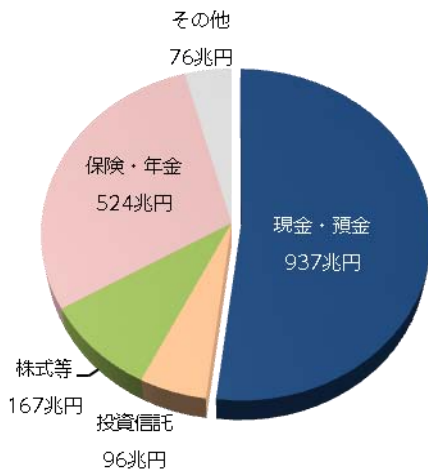
図表1：日本の家計金融資産の推移



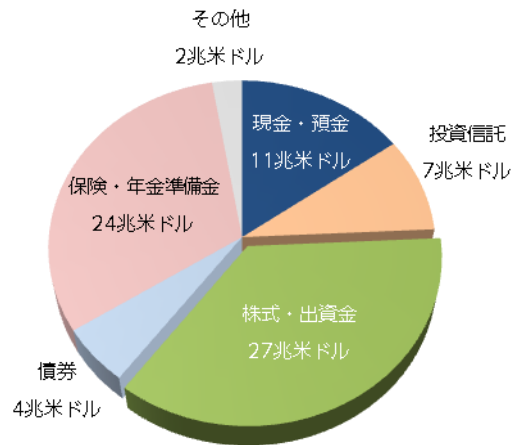
図表2：米国の家計金融資産の推移



図表3：日本の家計金融資産の構成（2016年末）



図表4：米国の家計金融資産の構成（2016年末）



出所：図表1、図表3は日本銀行のデータ、図表2、図表4はFRBのデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント